

農薬の処分方法

青木 照美 議員



産業振興部長 農薬の使用・管理についてはこれまでも市のホームページに使用方法や、取扱いに関する情報を掲載し、注意喚起を行ってまいりました。

事故後は市の広報紙や関係機関に対し、取扱いに関する指導の強化等を依頼しました。

不要農薬の処分についてはJA菊池で、本年度中に組合員の不要農薬を回収する予定です。



あなたの家にも不要農薬が眠っていませんか

農薬は使い方を誤れば危険な物になります。市では農薬の使用・管理についてどう指導されているのか、また、不要になり、放置されたままの農薬の処分はどうすればよいのか伺います。

青木 照 合志市は有数の農業地帯であり、適正な農薬の使用は生産性の向上につながるため、多種多様な農薬がこれまで使用されてきました。

しかし、農業を辞められて、長年そのままに放置されている農薬や、家庭菜園ブームにより取得されて、使わなくなった農薬が沢山有ると思います。

その他、残農薬の処分についての問い合わせに対しては、有償の処理業者を紹介しています。

市の活性化のため「道の駅」を整備しては?

松下 広美 議員



松本 事務体制はどうなっているか。

市長 合併によって強化した。これから知恵を出し合い、稼げる市を目指したい。

企業OBを活用しては

松本 企業OBの優れた経営ノウハウやアイデア等をもった人を、企業誘致専門員に活用されてはどうか。

総務企画部長 企業OBに優秀な人がおられる等情報があれば研究したい。

市長 「道の駅」は理解できるが、費用対効果等いろんな角度から十分検討する必要がある研究したい。

松本 販路拡大及び食の安全安心のPR、体験工房、防災拠点等多様な機能を持つ「道の駅」を整備して、市の活性化を図ってはどうか。

市長 「道の駅」は理解できるが、費用対効果等いろんな角度から十分検討する必要がある研究したい。

副市長 県、国等の情勢を早く掴んで市政に反映する事や市政の当面の重要課題に特に力を注いで行きたい。

松本 副市長は、これからの行政運営の中で、どのような政策に力を注がれていくのか。

市長 いろんな部署を経験されていますので、県と連携しながら事業推進が期待されます。また、職員の相談役、市のリーダーとしての活躍も期待しております。

松本 副市長は、これからの行政運営の中で、どのような政策に力を注がれていくのか。

市長 いろんな部署を経験されていますので、県と連携しながら事業推進が期待されます。また、職員の相談役、市のリーダーとしての活躍も期待しております。

松本 副市長は、これからの行政運営の中で、どのような政策に力を注がれていくのか。

市長 いろんな部署を経験されていますので、県と連携しながら事業推進が期待されます。また、職員の相談役、市のリーダーとしての活躍も期待しております。



道の駅 泗水(養生市場)

女性副市長を迎えて

松本 県内初の女性副市長を迎えられ、どのような事に期待されているのか。

総合計画の実績評価について

濱口 正暁 議員



濱口 今年3月発行の「合志市総合計画」について①地球温暖化防止対策への取り組み②家庭内での防災への取り組み③市内において犯罪被害への不安を感じているか④子育ての上で特に不安に思っていること、悩んでいること等についてその実績評価を定性的または定量的評価としてどういう風に見ていますか。

総務企画部長 ①・②・③・④共に定性的には無作為抽出3千人への市民へのアンケートによるデータで評価し、定量的には平成22年度数値目標値に対する実績値の比較で評価して行きたい。

ホワイトカラーシルバー人材の活用について

濱口 2024、5年で団塊世代の方々が多く退職されます。行革として力を借りたらどうか。

健康福祉部長 高齢者の豊富な経験を生かしたボランティア事業もしくは民間活用ということとして研究検討を行って行きたい。

地域での子育て支援について

濱口 保育園等以外の家庭内で保育されている児童割合とその支援は。

健康福祉部長 就学前児童の家庭内保育数は約44%で、市としても集いの広場や地域子育て支援センター更には子育てサロン事業等も増やして行きたいと考えています。

子ども農山漁村交流プロジェクトについて

濱口 平成19年度より国・県で進められているこの事業にチャレンジしてはどうか。

産業振興部長 食の安全と食糧自給率の問題解決のためにも、本市の子供たちへの農業体験は考えてみたい。

市長 国・県の補助事業化もされているので農業のいろいろな自然の問題、生き物の命の問題等取り組むところがあればぜひ取り組んで行きたい。



子どもの田植え風景

教育立市

池永 幸生 議員



池永 教育基本法が出来、60年の時代が過ぎた今、教育立市に對しどのような指導要項の取組をされるのか。学力、道徳、体力の3つを備えた子どもたちを育てることが人間形成の元と思うが。

教育長 学力向上では、先生方の指導力と家庭教育の見直しをし、そして合志市教育基本計画の中で表現力、思考力、判断力の向上に取り組んでいます。また、規範意識を高めるために道徳教育の充実を図り、社会を生き抜くための体力増強にも取り組んでいます。

小さなことにも取り組んで

池永 財政危機の中で、いろんな点を見直す時期が来ているのか。例に取るが慣例で市長から市電の予算が組まれている。市電は「有難く思われていると思う」と市長の発言であったが、私の調査では幾ばくかの費用がかかる市電には、「別にもらわなくてもよか」と言う方が大多数であった。そのようにいろんな形で節約する時期が来ていると思うが。

総務企画部長 市を代表して市長が



池永 見る角度を変えることで、財政削減が出来る余地があると思う。取り組んでいただきたい。

哀悼の意を表しているもので、現時点では続けていく考えである。

収入役 いろんな形で予算計上してある中で、数字的に間違いないか収入役の権限でチェックしている。